

ICI—障害研究、プログラム評価、トレーニングとコンサルテーション、そしてサービスと情報普及において米国と世界をリードする—



地域インクルージョン研究所 マサチューセッツ州立大学ボストン校

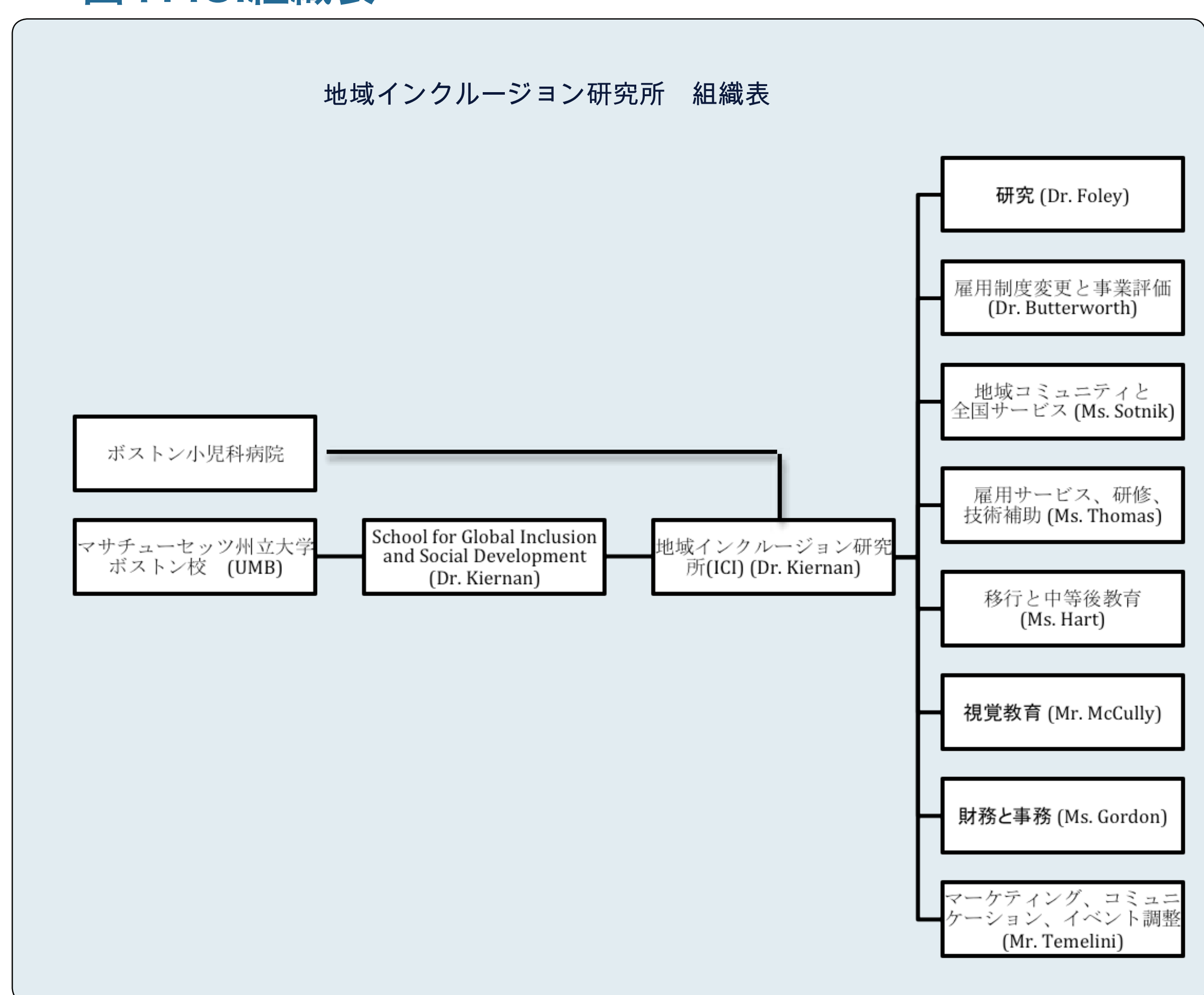
1. ICIの使命、歴史そして構想

- マサチューセッツ州ボストン市に所在する地域インクルージョン研究所 (The Institute for Community Inclusion:ICI) では、40年以上に渡り研究とプログラムの評価、トレーニングとコンサルテーション、臨床および雇用サービス、そして情報、研究、成功事例の共有を通して、社会のあらゆる側面においての障害者のインクルージョンの普及を推進している。(使命)
- 当研究所は、マサチューセッツ州立大学ボストン校 (University of Massachusetts Boston:UMB) およびボストン小児科病院 (Boston Children's Hospital) との共同事業であり、全米にネットワークを持つ67カ所ある障害者総合研究教育拠点 (University Centers for Excellence in Disabilities) の1つである。
- ICIはUMBのSchool for Global Inclusion and Social Development内に設置されている。本学部は教育、研究、研修を通して障害者や社会から疎外されている人々のニーズに対応する。
- ICIは、発達評価クリニック (Developmental Evaluation Clinic) という名称で知的障害のある児童とその家族のニーズに応える臨床サービスおよびトレーニングを提供するために、ボストン小児科病院に米国保健社会福祉省 (the US Department of Health and Human Services) からの助成金によって1967年に設立された。
- 1970年に制定された発達障害サービス及び施設整備法 (Developmental Disabilities Service and Facilities Construction Act of 1970) は、学際的なトレーニング、研究、模範的なサービスや技術支援に重点的に取り組むために、全米にネットワークを持つ障害者総合研究教育拠点 (University Centers for Excellence in Developmental Disabilities) を設置した。発達評価クリニックはその後、発達障害センター (Developmental Evaluation Center) と名称を変更し、全国的に展開する施設の1つとなることでその役割を広げた。
- 1993年に発達障害センターは名称を地域インクルージョン研究所 (ICI) と再び変更し、障害者および健康障害を持つ全ての人のためのインクルージョンと地域コミュニティへの参加に更に大きな焦点を当てた。
- 当研究所の業務は、地域コミュニティ生活、教育、雇用や医療の抱える問題に取り組み、障害者の生涯にわたって障害の枠を越えることに重点を置いている。→これはICIの主な焦点である。
- ICIのプロジェクトは、ニューイングランド地方全域、全米各地、そして国際的に障害者のインクルージョンを広めることである。(構想)

2. ICIの組織とスタッフ体制と資金

- 当研究所は8つの部署で成り立っている (図1:組織表参照)。ICIの所長兼School for Global Inclusion and Social Developmentの学部長であるDr. William E. Kiernan率いる当研究所には、研究者と大学院生助手を含むおよそ210名のスタッフが在籍している。
- ICIスタッフは、地域コミュニティ生活、教育、雇用そして医療の場においての問題に対応し、総合的事業に取り組んでいる。

図1: ICI組織表



- ICIスタッフは、地域コミュニティ生活、教育、雇用そして医療環境における障害に関連した問題に取り組むことで、学際的なプロジェクトチームに従事している。
- ICIスタッフのおよそ半数が障害者、または身近な家族が障害者である。
- ICIは、フェロシップ、大学院生助手、学費支援や夏期雇用などによって、年間に約240名のUMass Bostonの学生を支援している。また、当研究所は20の異なる学科を提供する神経発達障害のリーダーシップ教育 (Leadership Education in Neurodevelopmental Disabilities:LEND www.lendboston.org) を通じて45名の長期および中間訓練生を支援している。
- 当研究所の年間運営費用は、21,500,000USD (1,680,000,000円) である。資金援助は政府機関 (米国教育省、労働省、保健社会福祉省など) とその他の私的財団や民間組織から受けている。

過去30年間におけるICIの成長

- 事業の増加数: 年々8件から71件
- 予算の増額: 年々2,500,000USD (195,900,000円) から21,500,000USD (1,680,000,000円)
- スタッフと大学院生助手の人員増数: 年々27名から211名
- 訓練生の増数: 年々15名から286名
- チェコ共和国、スロバキア共和国、トルコ共和国、アラブ首長国連邦、サウジアラビア王国、そして台湾の6カ国におけるプロジェクト

3. ICIが重点を置く分野、パートナー、そして利害関係者

当研究所は米国内外において以下に挙げる4つの分野に重点を置き取り組んでいる:

地域コミュニティ生活

- 全米および地域コミュニティでのサービス
- 包括的なボランティア機会
- 中等後教育と雇用へ導くサービス
- 地域コミュニティ組織とのパートナーシップ

教育

- 早期介入と早期教育
- 包括的な中等後教育
- 普遍的なコース設計
- 青少年育成とリーダーシップ
- 教育専門家、管理者、視覚障害生活訓練等指導者やVRカウンセラーに向けたトレーニングと専門的能力の開発

雇用

- 包括的な職場
- 求職者への支援
- 雇用主への支援活動
- 州の雇用成果の改善
- VR機関および専門家向けのリハビリテーションと労働力開発のトレーニング
- 公共政策の専門家

医療

- 医療専門家への障害者支援とサービスに関するオリエンテーション
- アクセスしやすいコミュニティサービス
- 特異な医療を必要とする青少年への支援
- 多種多様な人々に向けたメンタルヘルスサービス
- 母子保健専門家

これらの主要分野に渡り、ICIは13ヶ所の全国センターと5ヶ所の地域または州レベルのセンターを設けている。

4. 障害者雇用と職業リハビリテーションに関するICIの主要研究プロジェクト

- 中心となっているのは、ICIによって設けられた障害とVRの研究に特に重点を置く3つの全国的なセンターやプロジェクトである。これらは、研究、モデル開発、トレーニング、技術支援そして情報普及を通して障害者の雇用成果を改善する目的を持ち、公共VRプログラムを充実させるために5〜6年の間米国教育省から資金援助を得ている。本セッションでは、ICIの総合的な障害者雇用データのポータルサイト (www.StateData.info) の詳細も提供する。

4.1. 職業リハビリテーション研究トレーニングセンター (VOCATIONAL REHABILITATION RESEARCH AND TRAINING CENTER:VR-RRTC)

- 本センター (2007年〜2013年) は、全米50州、ワシントンDC、フェルトリコおよび米国領土各地における公共VRプログラム、主要特性、州の障害者および雇用サービスシステムなどのより大規模なシステム内での役割、そして関連するVR業務についての知識を創作する。



主な研究活動内容:

- 1970年から2008年の間に作成された公共VRプログラム研究文献のシステム化されたレビューとレビュー結果の統合。
- 発達障害者と精神障害者の雇用成果を改善するためのVR機関の業務に関する事例研究。
- 重度障害者への支援、サービスへのアクセス、事例ファイルのプロセスを改善するためのVR機関の業務に関する事例研究。
- 全てのVR機関とその他の州機関 (発達障害、メンタルヘルス、福祉) や地域コミュニティのリハビリテーションプログラマーに関する全国調査。
- 研究、計画、評価や意思決定に役立つデータへの容易で便利なアクセスを提供するウェブポータルサイト (www.ExploreVR.org) の開発。
- 更なる情報については、ウェブサイト (www.VR-RRTC.org) を参照。

4.2. リハビリテーションと技術支援センター (REHABILITATION AND TECHNICAL ASSISTANCE CENTER:RTAC) のVRプログラム管理

- 本センター (2009年〜2014年) は、戦略的計画、人事そして品質保証に特に重点を置く公共VRプログラム用のプログラム性能管理モデルの開発および検査をするための施設である。

主な研究活動内容:

- 民間および公的セクターにおける戦略的計画、人材、品質保証そして関連する経営実務に関する文献のレビュー。
- 戦略的計画、人事、そして (または) 品質保証に関連するVR機関の経営実務に関する事例研究。
- 選定されたVR機関での経営モデル (例: モデルに含まれる事例) の実施に関しての文書化と評価。
- 経営モデルを検証しVRリーダーがシステムレベルでの問題を解決するのを注視するための8 VR agency Learning Collaborativesの作成。
- 更なる情報については、ウェブサイト (www.VR-RTAC.org) を参照。



4.3. 社会保障身体障害保険を受けているVR顧客向けの雇用成果改善に関するモデル実演「SUBSTANTIAL GAINFUL ACTIVITY (SGA) プロジェクト」

- 本プロジェクト (2011年〜2016年) は、社会保障障害者保険給付金 (連邦政府による障害者保険収入補助) を受けている障害を持つ顧客が、目標とする賃金や収入水準またはそれ以上の報酬で就労復帰出来るように支援する社会保障障害者保険のための公共VRプログラムの雇用サービス提供モデルの開発と検査をしている。

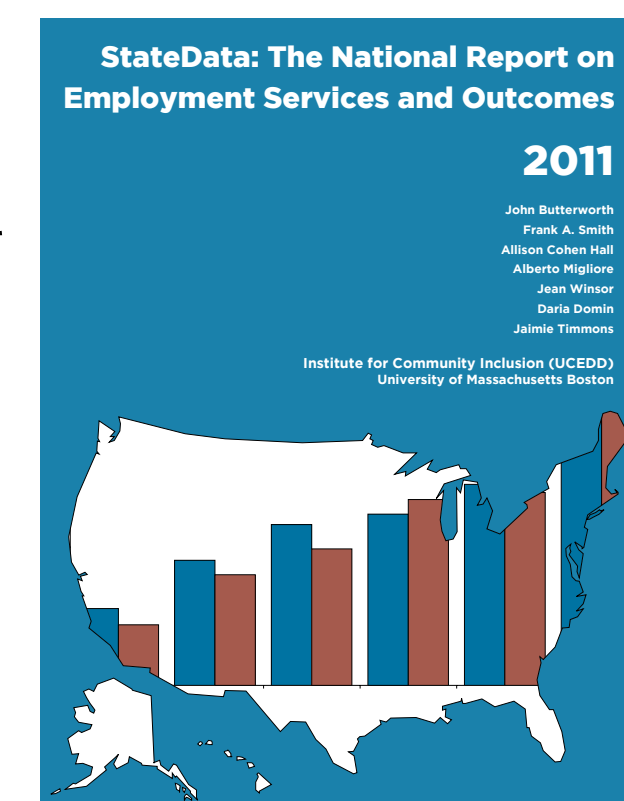


主な研究活動内容:

- 傾向と見込みのあるモデル実施場所を見極めるためのVRおよび社会保障障害者管理データの補助的なデータ分析。
- VR顧客がSGA水準またはそれ以上のレベルで労働に従事できるように支援する将来性のあるVR機関の雇用サービス提供に関する事例研究。
- 選定されたVR機関でのサービス提供モデル (例: モデルに含まれる事例) の実施に関する文書化と評価。
- 更なる情報については、ウェブサイト (www.VR-SSDI.org) を参照。

4.4. ICIの総合的な障害者雇用データポータルサイト:

- 政策立案者、管理者、プログラムスタッフ、専門的なサービス提供者、研究者、教育者、そして障害者とその擁護者などの障害者の雇用に関するデータを必要とする人のための情報源。
- 本データポータルサイトでは、障害者向けの雇用サービス、雇用成果や人口情報を提供。
- ユーザーは、カスタマイズされた図と表の作成やサイト上の多数あるデータ源の1つから生データをダウンロードしそのデータを各自の分析に使用することが可能。



5. 米国-日本比較研究と共有修得についての潜在的な研究題目

- これまでのICIの国際的な業務はトレーニングと技術支援 (第6節を参照) に殆ど重点が置かれてきた。今後何年かに渡りSchool for Global Inclusion and Social Developmentは当研究所と並んで、研究とトレーニングプロジェクトそして他国の研究所や大学との関係に尽力することによって大学の国際的範囲を拡大することを計画している。以下は日本のリハビリテーション研究者や専門家の討議への参加を招請するための潜在的な研究題目のリストである。
- 政府によって出資されている雇用サービスは、求職者や雇用者両者にどのように対応できるのか?
- 知的障害者や精神障害者向けのより良い雇用事例をどのように作り出すことができるのか?
- 障害を持つ高齢の労働者や年齢を積みにつれて障害者となる労働者のためのより良い雇用事例をどのように作り出すことができるのか?
- 高く評価されている雇用者が障害者となった際に、VRサービスは労働者と雇用主をどのように支援が可能か?
- VRカウンセラーやその他の雇用スタッフは現場でのような問題に直面するののか。また、これらの問題はトレーニングや専門的能力の開発を通してどのように効果的に対処できるのか?
- ウェブベースのテクノロジーは、事例管理、リハビリテーションサービスの提供、そして顧客とリハビリテーションパートナーとの雇用に関する情報共有にどのように効果的に活用できるのか?
- VRリーダーシップは、人員、雇用そして労働市場データを、計画、サービス提供、評価や意思決定にどのように効果的に活用できるのか?

6. 主なICIトレーニングと技術支援活動 — 米国内および国際的に

- 中心となっているのは、国際的なクライアントに関連性のある2つのトレーニングと技術支援プロジェクトである。ニューイングランド技術支援・生涯教育センター (The New England Technical Assistance and Continuing Education Center:TACE) は、VRおよび (または) 職業紹介所、スタッフ、そしてパートナーを地域ごとに支援する。リハビリテーションカウンセリングプログラムは、カウンセリングの専門家が様々な状況で対処できるように準備を整える100を超える全米プログラムの1つである。さらに、ICIトレーニングと技術支援活動の国際的な事例も4件ある。

6.1. ニューイングランド技術支援・生涯教育センター (TACE)

- 職業リハビリテーションの情報、トレーニング、技術支援を提供するために米国教育省より資金援助を受けている全米に10ヶ所設けられている地域TACEセンターの1つ。
- トレーニングの題目例には、障害者給付金を受けるにあたっての影響と効果、それらに対処するためのリハビリテーションと戦略における倫理的問題点、キャリア計画、雇用促進と雇用定着、重度の障害者への雇用促進、雇用コンサルテーションと職場支援、障害者雇用の法的側面などがある。
- トレーニングと技術支援の内容は、各国からの受講者のニーズに合わせてカスタマイズが可能。
- 更なる詳しい情報については、ホームページ (www.TACENE.org) を参照。

6.2. 大学院過程でのリハビリテーションカウンセリング

- UMass Bostonの College of Education and Human Developmentでは、リハビリテーション教育委員会 (Council on Rehabilitation Education: CORE) によって正式認定されている大学キャンパスおよびオンラインで受講可能なリハビリテーションカウンセリング理学修士プログラムを提供している。本プログラムはICI職員によって調整されている。
- 本プログラムはカウンセリング専門職の論理と実務について一人一人を訓練する。全プログラム行程 (キャンパスおよびオンライン) はフルタイムで2年、パートタイムだと4年で修了する。
- 卒業生は、専門的なサービス提供者として様々なコミュニティ設定において就労する。病院、学校、リハビリテーション機関、キャリア計画センター、雇用者支援プログラム、クリニック、居住型の療養施設、そしてその他のメンタルヘルス機関など。
- プログラム内容 (キャンパスおよびオンライン) は、各国からの受講生のニーズに合わせてカスタマイズが可能である。
- 更なる情報については、ウェブサイト (www.umb.edu/academics/cehd/counseling) を参照。

6.3. ICIの国際トレーニングと技術支援活動

チェコ共和国とスロバキア共和国

- ICIスタッフは、チェコ共和国とスロバキア共和国にて、障害者のためのコミュニティ生活と雇用プログラムの確立に向けて5年間両国政府と協働した。これにはその分野のスタッフトレーニング、社会福祉、雇用促進そして医療が含まれた。

アラブ首長国連邦ドバイ

- ICIとその他4大学およびAssociation of University Centers on Disabilities (AUCD) は、障害を持つ小さな児童向けの包括的な教育プログラムの作成においてドバイ政府と協働した。これには全児童を対象とした総合的な早期スクリーニングアプローチの開発が含まれた。

サウジアラビア王国

- ICIは、障害者向けの雇用およびトレーニングプログラムを作成するためにサウジアラビア政府と契約を結んでいる。これには、早い段階での雇用者との契約、障害者の現場でのトレーニングそしてこれらの労働者への継続した支援など、地元企業での障害者の採用と支援をするための戦略の開発と実施などが含まれる。

台湾

- ICIは、文語だけでなく数学と科学の表記法のプライム点字コードにおける教育者の能力を向上させる目的で作成されたプログラム化された指導カリキュラムを開発した。本カリキュラムは標準中国語に翻訳され、現在、台湾の多数の大学への支援として活用されている。

その他の活動

- その他に、ボストン小児科病院のCenter for Global Pediatrics、ボストンの郊外にあるパーキンス盲学校 (Perkins School for the Blind)、オーストラリア・パース市のカーティン大学 (Curtin University)、スペイン・サラマンカ市のサラマンカ大学 (University of Salamanca) との正式提携契約を経て、ICIのその他の国際的活動が近く行われる。

ICIおよびプレゼンターの連絡先:

ボストンオフィス:
Drs. William E. Kiernan and Susan M. Foley
地域インクルージョン研究所/UMass Boston
Tel: +1 617-287-4311 (Kiernan)/4317 (Foley)
email: William.Kiernan@umb.edu, Susan.Foley@umb.edu
URL: www.communityinclusion.org

ICIソーシャルメディア参照先:
www.communityinclusion.org
www.facebook.com/communityinclusion
www.twitter.com/ICIinclusion
www.youtube.com/communityinclusion

東京オフィス:
Dr. Heike Boeltzig-Brown
地域インクルージョン研究所/UMass Boston
Tel: 080-4807-5131 携帯
email: heike.boeltzig@umb.edu